

区分	午			後	会 場
	学校名	開始時間	種 目		
文化の部	盲学校	1.00	演技開始 (弁論, 音楽)	教育会館	
	聾学校	1.00	演技開始 (舞踊ダンス)		
体の育部	盲学校	1.00	競技開始 (相撲)	県相撲場	

## 2 昭和37年度の主な事業

### (1) 全県的な家庭訪問

在籍児童45名を対象として全職員手分けの家庭訪問指導を行なう。学習結果を折返し学校宛提出することにしたが16名が提出されただけに終る。訪問先には床についたきりの者、脳水腫にやむ者、やっとはって歩く程度の者など、目にあまるものだった。

3～4年前から療養園への入所を希望しているが、いまだに入れないと嘆く父兄が多かった。

### (2) 地区別説明会

県内5カ所で説明会(肢体不自由児を持つ父兄対象)を行なう。各会場とも盛況であり、養護学校と肢体不自由児施設との関係を解明することができ、また肢体不自由児をもつ親の意見を直接きくことができ、大きな収かかった。ここでも施設や学校への切なる入所(入学)希望が述べられた。

### (3) 入学児童(寄宿舎収容)の健康診断

県下で入学希望者(寄宿舎希望)は65名あったが、医師の健康診断生活能力調査等入舎について判定の結果47名(寄宿舎46名通学1名)を許可することにした。その結果は次の通りである。

## 2 福島県立養護学校

### 1 はじめに

独立校舎建築中は郡山市富田支所の会議室を借用し、校長以下9名の職員で創設事務を始め、学校運営上の基本的事項を定める一方、肢体不自由児教育のあり方を研究し、備品の購入計画、今後の増築計画等に着手する。その間、在籍児童の家庭訪問、関係父兄に対する学校の内容説明会、入学児童の健康診断等を行ない建築の完成を待った。

昭和38年1月10日、本校第1回の入学生47名を迎え、寄宿舎および学校の活動をはじめ。

#### (イ) 年令別児童生徒

年令	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
数	5	10	1	3	4	8	5	2	1	3	—	2	1	45

註 許可後事情により2名就学せず

#### (ロ) 出身地別児童生徒

出身地	福島市	伊達郡	安達郡	安積郡	郡山市	須賀川市	岩瀬郡	白河市	西白河郡	東白川郡	石川郡	大沼郡	河沼郡	耶麻郡	喜多方市	相馬市	内郷市	磐城市	平市	相馬郡	石城郡	合 計	
数	3	4	3	3	2	5	4	1	2	2	1	1	3	1	4	1	1	1	1	1	1	1	45

#### (ハ) 病類及び障害部位別児童、生徒

病 類	脳 性						脊 髓 性					股 関 節 脱 臼		脊 髓 後 彎 症	筋 萎 縮 症	骨 髓 炎	く る 病	胸 推 カ リ エ ス	顔 貌 痴 呆	不 明	合 計		
	四 肢	両 下 肢	右 上 下 肢	左 上 下 肢	右 上 肢	右 下 肢	四 肢	両 下 肢	右 下 肢	左 上 下 肢	左 下 肢	両 下 肢	左 下 肢	両 下 肢	両 下 肢	右 下 肢	両 下 肢	体 幹 両 下 肢	両 下 肢	両 下 肢			
数	9	5	5	4	2	1	1	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	45

註 同上中二重(言語)障害児童生徒数12名(26.6%)